

佐鳴湖の12月8日の水色と透明度



水色は淡黄緑茶色

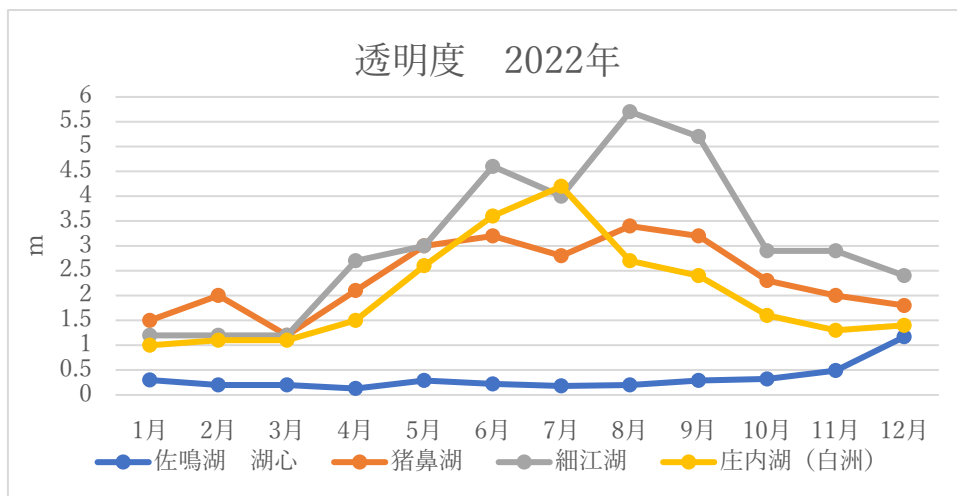
約30cmの透明度板の見え方

渦鞭毛藻（ヘテロカプサ、ロウタンダアタ）11,090 個体数/mL(12/12)

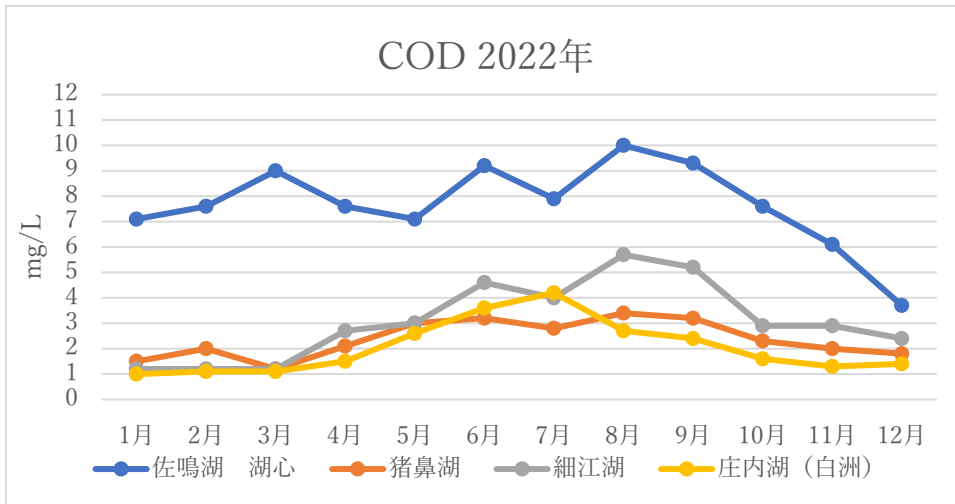
珪藻（キートケロス キクロテラ 他2種）の混合赤潮

透明度が高かった期間 11/18～12/4 の2週間

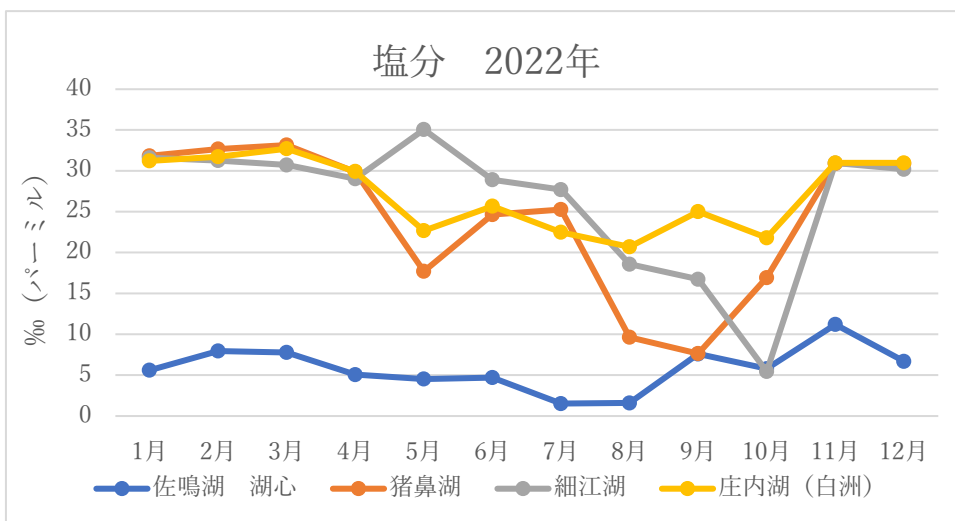
佐鳴湖と浜名湖の透明度 COD 塩分の比較(環境保全課)



佐鳴湖の透明度はわずか0.2mと数年間の中で最も低い状態が続いた。浜名湖では春から夏にかけて透明度が上昇している。これとは全く異なる傾向にある。なぜ？



佐鳴湖で COD が低下しているのは晩秋から 12 月にかけて、他の月はほとんど横ばいなぜ？ 環境基準（目標値は佐鳴湖 5.0mg/L 浜名湖奥部は 3.0mg/L）達成は難しい。汽水湖の環境基準達成率は COD 9.5% 窒素 26.7% リン 26.7%両方達成率 13.3%で、汽水湖は変動が大きく、環境基準に達成するのは厳しいのです。環境基準は国が設定したもの 佐鳴湖には佐鳴湖の環境特性があり、それを考えなく環境基準を設定するのは問題があるという見解もあります。



佐鳴湖は浜名湖と比べて低塩分、浜名湖は海水が奥部まで流入し、海水に近い塩分になっている。猪鼻湖と細江湖で 8 月～10 月に塩分が低下しているのは降水の影響である。